

4/5
2012年第1103号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
会誌
発行人 志岐 幸一
大阪府浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

診療報酬・介護報酬改定

新点数説明会に2千人

運動反映しプラスを実現

診療報酬と介護報酬の同時改定を目前に控えた3月20日、協会は新点数説明会を御堂会館(大阪市中央区)で開いた。午前・午後合わせて約2千人が詰めかけ、改定のポイント解説に耳を傾けた。「社会保障を拡充し、府民生活を支え、大阪再生の一翼を担うべく全力を尽くす」としたアピールを採択した。

(3面にアピール文)

あいさつした小澤力理理事長は、歯科医院の経営悪化を挙げ、「原因は、『構造改革』で国民の所得が減り、3割負担などで来院できない患者が増えたことだ」と強調した。患者が安心して来院でき、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工が誇りを持って診療できる環境を実現するため、全力を尽くす」と述べ、今後取り組む消費税増税の撤回と患者負担軽減を求める署名への協力を訴えた。

吉田裕志副理事長は



約2千人が参加した新点数中央説明会(3月20日、大阪・御堂会館(大阪市中央区))

「2012年度改定の要点と解説」をテキストに改定内容を説明した。歯科医療では、「常時寝たきり状態等」の表現の削

除や、在宅療養支援歯科診療所の歯科衛生士への評価などを説明した。歯周病安定期治療では

新年度の講習会決める 社保や接着ブリッジなど多彩

社保研究部と臨床学部はこれまでに、新年度の講習会予定を固めた。診療報酬改定関連では、「社保講習会」を6月と7月の2回にわたって開催する。今後は、「痛くない歯科治療―無痛治療、無

在宅への移行促進が鮮明

レセ電利用し医療費削減へ

2012年度診療報酬改定の「狙い」と「本質」を4回にわたって解説する。

改定の特徴

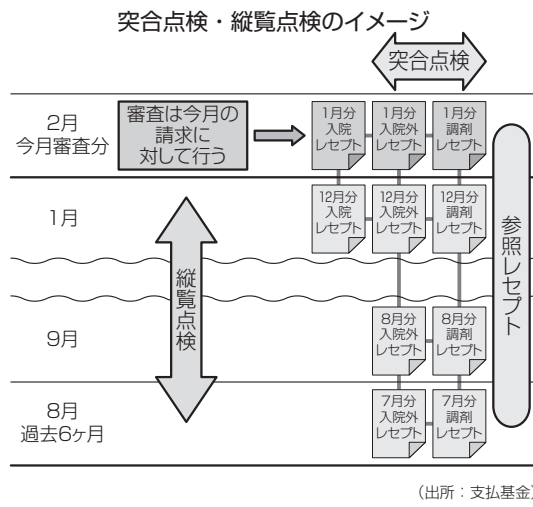
2012年度歯科診療報酬改定は、前回のプラスに引き続き、1・70%の改定率となった。

東日本大震災復興への負担増が求められる中で、保険導入された。しかし改定の基本方針を見るとき「社会保障・税の一体改革」に沿った改定であることが分かる。入院から在宅へと医療から介護の流れを作る改定と位置付けられ、歯科でも周術期と在宅を重視した内容となっている。

突合・縦覧点検

また、レセプト電算化に伴い3月から突合・縦覧点検が、4月からレセプト算定日記載が始まる。

今改定の位置付けから分かるように狙いは医療費抑制である。レセ電をテコにした突合・縦覧点検、レセ算定日記載による審査・指導の強化は萎縮診療を招く。協会には、引き続き審査・指導の強化に警鐘を鳴らし、審査・指導対策講習会を開催することも狙う「社会保障・税の一体改革」に反対し、活動を強める。(つづく)



(出所: 支払基金)

協会ガイドを同封



未入会の先生に
入会をお勧めください

「歯科保険診療の研究」は4月下旬にお届けの予定。5月13日には、患者接遇や歯科の基礎知識を学ぶ「新人スタッフ総合講習会」を開催する。協会には1冊無料で届ける。

PR増刷号

今号は大阪府下の全歯科開業医の先生方にお送りしています。この機会にぜひ協会にご入会下さい。ご入会、協会の概要については、組織部までお気軽にお問い合わせ下さい。

未入会の先生に、この新聞をお送りするに際し、近畿厚生局・各種名簿などで情報を取得しました。「郵送を断る」などご要望がありましたら協会事務局(TEL 06-6568-7731)まで。

歯界

長い間の鎖国の反動で、明治以降の日本は欧米のまねに終始した。果ては帝国主義や植民地侵略までまねて破たんした。今もグローバル・スタンダードという言葉に弱く、国策への提案の言辭を裝飾するの、欧米ではと言えば説得力を増す。議会制民主主義も、不平等条約を解消してもらうため、先進国並みに似た制度を誇示するというのが直接の目標だった。この国でも国土の地勢や気象条件、産業、歴史的背景と、常に変動する経済など固有の条件を背負ってそれぞれの利益が存在している。

TPPはアメリカ経済圏でのアメリカ企業主導のグローバル・スタンダードの構築を目指すもので、孤立矮小化を恐れる日本の言辭的な弱点である。中南米では自国の固有の課題を優先させアメリカとの一定の距離を持つ国が増している。日本は自然災害多発国である。毎年多数の人が突然生活基盤を奪われる。災害対策が最優先課題のはずだ。

おことわり

協会の社保担当事務局員は、4月中旬まで改定書籍『歯科保険診療の研究』の製作業務で事務所を離れます。お問い合わせは出先から折り返しの対応となります。